

琉球大学学術リポジトリ

日米関係（沖縄返還） 47

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-14 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43847

鶴見至清局長がリン会谈(昭四・四・五)

経済局長

アメリカ局長

参事官

北米オ一課長

極秘

鶴見経済局長とグリーン大使の
会談要旨

44. 4. 15.

米北ニ

鶴見経済局長は4月15日午前9時30分より
約30分間にわたりグリーン大使と会談したとす

その要旨次のとおり。(当方より枝村北米オ一課長、
先方よりバーニャ在米大使館公使同席)
(枝村北米オ一課長)

(局長): 貴使のインドネシアにおけるミッションが成功の
たことに対してお祝いを申し上げたい。

(グリーン): 自分~~が~~が何もしないうちに事態が好転した
ゆけであるが、自分としてはむしろ米口の over

identification あるいは excess of presence
といったことを避けるよう努めてきた。また、在任中

GAB

553

外務省

は現地の日本国大使館とも緊密な協力関係を
保つてきて喜んでゐる。特に、自分としては

(日本)
今日の対インドネシア援助の取扱いは大いに
満足している。これに反し、昨年のそれは distressing

であつた。これはインドネシア側にも問題があつたわけ
昨年は アラキヤ 事件 という問題をよく知らない

(この問題を話し合ふ)
人間が来日したか、今回は ウィンヨヨ が来日
しうまく ~~解決~~ したこともよかったと思う。日本側に
話し合ふ

においても福田大蔵大臣、愛知外務大臣及び森外務
審議官をはじめとする事務当局の方々が ~~大いに~~ 大いに

仲らっていたこと ~~を~~ 大いにアポイントしている。
これは米国内において議会の援助問題で裏

方向に進む傾向にあるとき米行政の立場を大いに
助けるものであり、二ういふ援助供与国側の建設的

GAB

外務省

態度は非常に役立つものである。

(局長)：わが国の東南アジア向援助は次第に

強化されて行く傾向にあると考えるが、これが
日米関係全般_へにより影響を及ぼすことを期待する。

日米両国内の貿易面では ups and downs があり、
トレザース大使とも昨年末自由化問題について

会談したが、輸入自由化については、2,3年以内に
かなりの分野について自由化を行なうことに決定しており、

現在もヒアリングを検討を行なっている。このような時期
に米国内において繊維品貿易規制の動きが高まり
繊維品輸入規制については今後の経済的振興の面でも明らか

いることには非常に困惑せざるを得ない。

(バージャー)：昨日の日本協会における ~~議論~~

佐藤総理の演説の中でも自由化の問題に触れ
られているが、これは自由化のステップをアクセラレート

する趣旨であろうか。

(局長)：総理の演説は、わが国が自由化問題

について一般的に前向きであることを述べられたものであり、
具体的にタイミングを早めることではない。

^(も意味したものの)
地域内では必ずしも一律に内政上の面が限られる。

(グリーン)：自分としては今回は東アジア全般の
事情に refamiliarize するためにきついで各方面

の方々から意見を聞きたいと思う。特に自分の
所属面における国には地域協力と中米との

経済関係といったことである。中米との関係については
日本政府の政策を分離という考え方は今後とも続く

と承知しているが、今後カナダは中米承認に踏み切ら
ないか、中米が承認口に特に favor を与えるような

ことがないことは、徹底的に反英口であるドイツが中米との
貿易をのぼしていることから実証されよう。

(局長) 中米貿易については、貿易貿易は減っているが、いわゆる友好貿易の割合は増えている。最近又中米

貿易は若干減少傾向を示したか、~~これは~~これは文化大革命の結果であり、また、わが国が買入産品

がないという経済的理由に基づくと考え。昨年の5億ドルはほぼ下るところまで下った数字であろう。

(グリーン) 中口の長い歴史の中でも今ほど中米の態度が、かたくなで困難な時期はない。これはいつまで

続くか先日、左香港半総領事と話をした際にも意見が一致したが、結局毛沢東が死ぬまで現状は

変らぬのではないかと思う。米国の政策もむしろ毛死後を考えているといえよう。わかれわかれとは中米との

関係について何とか手を打ちたいとは思いますが、双方が
~~老何ハニニ~~なればどうしようもない。
その気になら

(局長) 日中コミュニケについて色々問題があることは御承知のとおりである。古井議員に随行した

人々中にも privately には、二ついう状況では明年からは貿易貿易のために中米へ行く人はたぬもない

なるのではないかと述べる人がある。その間にあつて台湾との貿易は非常に増えている。

(グリーン) 自分は台湾に寄つてその状況に大変元気づけられた。現在の口民政府には副総理を任命

タイニミック指導者が多く経済開発及び貿易面で大きな成果をあげている。このことは、自由な空気を

与えられれば中口人は活躍発展する素地を備えていることを示すものであると考える。自分としてはイデオロギ-

に焦点をあけて説明するよりも自由な空気というものに焦点を合せて米国の政策を説明に行くべきである

と思う。

(局長) ニコ最近では台湾との貿易は往復も

億ドルに達し、最近^{中国}は本土との貿易よりも~~多く~~多く
民間投資も少なくない。

(ここて口会よりの呼出しがあり、会談は中断とやる
ことになった。)

自分の準備範囲の問題としては、繊維製品貿易規制
の問題については、We don't like it と申し上げ

ておきたい。

(北米ニ課長) ニ外務省は、昨年又タイニ日本部

長が、鉄鋼、自動車及びタイヤの問題について何とか
してくれと依頼された後、外務省を^二これら^一を

片づけるよう努力した次第である。繊維規制
は last straw であり、ゆが国はこれに反対

であり、どうして支持することはできない。

(グリーン) ニ自分は二の問題には直接関係

米国のかかる提案としている

していないが、背景については御承知のとおりである。
よく

秘密表示（朱印）

極秘

部数指示	発信用	試務用	備考
主	1		2
付	3	4	
付	3	4	

発送日	昭和44年4月18日
処理日	
発信	タイプ

文書課長

公信案

公信番号	米北 第 523 号	公信日付	昭和44年4月17日
大 臣	主管	起案	昭和44年4月16日
政務次官	アメリカ局長	起案者	赤沢 電話番号 446
事務次官	参事官		
外務審議官	北米第一課長		
外務審議官			
官房長			

協議先

受信者	在米 下田大使	発信者	愛知大臣
-----	---------	-----	------

写送付先	(希望発送日)
	月 日

件 名
グリーン大使との会談記録送付

GA-2

17 266

外務省

回覧番号

米北/才523号

昭和44年4月17日

在米大使殿

外務大臣

グリーン大使との会談記録送付

4月14日及び15日にかけて、次期日務省次官補

グリーン大使、本大臣、牛場次官、斎藤官房長

及び鶴見経済局長と各々個別に会談した。

同会談記録と下記の通り、~~新~~ 御参考

に各1部別送付する。

記

1. 愛知大臣とグリーン大使の会談録

GA-4

外務省

- 付属添付

杨永

- 奉日中の「7」大使は 14日午後3時 下町局長事務所
要次下町の如く要途に在。 (同席 大町厚子、石井、
山崎)

北洋第一海员、华俄松花江代理大臣、吉林善后
官、黑龙江副大臣补佐官、吉林通政官)

九

又、^{親善}管内旅行中に、上使の任命に先立つ聴取のあり、公けには一切旅行の成果等として知らせるに

113 か、該局各行政事務担当職員等(信令士
と12、先ず東南アジアの国境を把握(実務別途

(同定) せいのち 日米関係等につき次の如く信託した。

また次に極め困難な問題が
続出し、米例等と早の動きの懸念も生

じり出たものの、今後とも色々と問題を
覚悟せねばならぬを指摘した。(7)

米格別の取組を(。)

4. 三つ折りの問題

局長が 12月18日に署名の件を失念した

ところが、今回もこの期での^{承認}承認が予定されてお
り、昨年の「三つ折りの問題」に出ているように

ある旨^{述べ}述べたが、先方への交渉が
進んでいない現状を踏まえ、代理として

が、署名するに当たり米例の検討は、工場の
都合に延期せざるを得ず、その後どうなるか

中、部(内務委員会など)の検討があるものと

記述した。

5. 日加関係と中東関係問題

12月18日の関係者の談話から、(7)

より、中東関係は加への関心も高まっている

という、12月12日首相府政務官談話によれば

加外務省

(3) 担当者は、今回のような状況下においては、

あり、当然に加の内外関係化に以上

担当者は、

どうしようかと述べている。

秘

アムボ
アムボ

アムボ
アムボ

次期米国防務次官補 グレン 大佐の要請

名に使用する 内容

（注）

44. 4. 14

14日午後米防務次官の大佐がアムボ局長と面談した。

その際、何事御考へておられるかとお尋ねした。

（断片的に答へた）

1. ビルマで、先方の要請の中、内容に取上り、同行の駐ビルマ大佐が驚くほど、早速明快にその見解を述べた。

述べた。

2. ビルマで、先方の要請の中、先方がオーストラリアの要請を拒否した。

アムボ、インボ、インドネシア、タイ、フィリピン、

ハルマ、オーストラリアと並んで大佐の要請を拒否した。

（ハルマに要請）

3. そのタイで、オーストラリアの要請を拒否した。

GA-5

外務省

546

していた。オーストラリアは、11月、オーストラリアが、昨年、11月、
勢が強く、~~オーストラリアは、11月、オーストラリアが、昨年、11月、~~ 大に報じて

11月、如く述べた。尤も、外相は、（何か）
かつ、非常と、頭を悩ました人、自分、~~自分、~~

大に、インボ、オーストラリア、述べた。

GA-6

外務省

秘密表示 (朱印)
極 秘
無 期 限
2 部 の 内
号

部 数 指 示	発 信 用	執 務 用	備 考
主 信	1	1	2
付 信			
附 信			

発 送 日	昭和44年4月30日
処 理 日	
発 信	PT タイプ (渡)

文書課長 公 信 案 (分類)

公 信 番 号	米北 第 560 号	公 信 日 付	昭和 44 年 4 月 28 日
大 臣	主 管	起 案	昭和 44 年 4 月 28 日
政 務 次 官	アメリカ局長	起 案 者	米北 電話番号 446
事 務 次 官	参 事 官		
外 務 審 議 官	北米才一課長		
外 務 審 議 官			
官 房 長			
協 議 先			
受 信 者	在米 下田大使	発 信 者	参知大臣
写 送 付 先		(希望発送日)	
件 名	グリーン大使との会談記録送付		
GA-2	28 22	外 務 省	回覧番号

米北1才 560号	
昭和44年4月28日	
在 米 大 使 殿	
外 務 大 臣	
グリーン大使との会談記録送付	
4月28日付 (送信米北1才523号に) 付し、	
次期口移次官補グリーン大使と本省幹部との	
会談記録(写し)は、冒頭往傍の別添として既に	
送付済みなるが、同大使と東郷アメリカ局長との	
会談振りにつき、同会談記録(写し)と 付	
送 御参考まで1部別添追加送付する。	
付 属 添 付	
GA-4	外 務 省

次長 近藤嘉彦 米参 別添
年約局長 電

共同声明の沖縄関係部分の
最終段階における経緯



42.11.19
北米局長

- 1. 11月11日午前、北米局長 國務省に於いてスライ
ム・日本部長と会談。共同声明全文について逐条
検討した。特に沖縄施政移行問題に
(別添11参照)
関する部分については、我々も共同声明に於いて
端的に前途の姿を示す必要があること、米側との
関連に於いてもその姿がなされるべきことを繰
返し、先方よりは議会議長に於いて今更には沖
縄の地位を要する趣旨に非ざるを認め、この関係
係よりして時局的な前途を認めることは不可能な
る所以を強調し、結局この最も核心的部分は
別添1のとおり双方の意旨を併記して総理・大蔵
卿両氏の結果に俟つ他なしとのことで会談を
終らざるを得なかった。なおこの会談の際、先方

②

- より別添2を付添として提示したが、この案では
ある程度停戦の意化待ちと云ふことになり
到底妥協し得ずと述べられた。
- 2. 同日午後下田大使は総理一行を迎へるためシアトルに
出席されたが、同日夜、北米局長 領事館に於いて4条
案に於ける協議の結果、双方の歩み寄りを図る趣旨
より別添3の2案を作成、これをシアトルに
電報した。
- 3. 12日シアトルに於いて大蔵、下田大使及びリンソン
大使会談の結果、別添4の14-B案~~14-B~~を作成
成、リンソン大使はこれを米政府に具申すること
を約した。この案は、米側が拒否している「軍事
行為早い時期に」を「双方の同意する取極め」と
云ふことで案件付きと~~人たとの2~~米政府が妥協し
易くしようとするものである。
(するに依り)
- 4. かくして双方の両氏は、米側は「返還の方針の下に
協議(ないし review)する」と云ふことは応諾した。

③

- この「方針」に「出来れば早い時期に」を加へる
 ことには特色を示しておきかせ。14日午前の
 第1回総理大蔵院会議を以てしてなること。
 然るに23、14日午前、右会議に備へての最終
 打ち（総理、大蔵、官房長官、事務次官、北村長
 官出席）の席上、総理より、前夜検討の事と
 して別添5を米側に要請する意向を示
 した。この第1回会議では事件は一般論
 のみにて詳細に入らず、大蔵院より総理に
 対し、更に王務、国防両省と充分協議はれ
 たる上、協議を要することとし、と云ふことで、実
 質的進展を欠す。総理より別添5も是れ
 為急を以て採望したのみにて会議を
 終つた。

5、事情以上の如くであるので、同日ラスロ長官に
 午後全後、下田大使はバンクーバーに協談

④

- 申入れが、事實上その時迄余裕なく、同日
 夕刻、同次官補は別添6の諸事に付、議
 議と打ちを行ふ旨大使に付、^{（9月12日）}西署の
 協議は行へたこと。
 6、米側文書別添6には総理院事の別添5を基
 に入れたものであるが、20より、時期の目途を米側
 にとつてもその日のこととした事では、従事の見
 見で米側が承諾することと予想されたので、
 前記下田大使「バンクーバー」の短時での会議
 後、北村長官において別添7の事^{（14-A）}を作成した。
 右は別添5の総理院事を前段に以てして、総理の
 要乞とし、~~米側~~協談に因り、核心部分
 からは米側の拒否に因り「出来れば早い時期
 に」を外してあるが、米側の「前記の討議に因り、
 により、総理の要乞を活かし~~て~~とす迎撃
 に至るものである。右は同日協談院議を以
 大臣の~~承~~承^{得る}を^{事について}

⑤

- 7. 14日夜大統領晩餐の際、バンクーバー二次補は
北米局長に対し、別添8を手交し、検討を求めた
ので、北米局長より之と引替へに別添7を渡
して先方の検討を求めた。別添8は、総理事を
総理事官としてとり入れた上、大統領が条件付で
総理事の云々合意が出来る希望を表明したもので
あるか。左は(イ)折角通達問題を西政府で
協議検討することとしたるも、再び希望表明の交換
を経て1965年の共同声明を想起せしめること、並
びに(ロ)協議検討の結果を共同声明で予見すること
は形として不適当な点との感あり。他方、前記の
別添7を一読したバンクーバー二次補は、これなら受端
の可能性あるかも知れずとコメントするところか
あった。

8. かくして15日午前の総理ラッパ会議に於ては、
我々としては前記14-A(別添7)又は14-B
(事務当局)

⑥

- (別添4)の何れかを先方に受端せしめるの他なし
との懸念で、~~院人~~をこととなった。右会議に於ては
最初ラッパより別添8米事^Eに付視れあり。之につ
いて充分議を盡さざる儘、ラッパは更に米事^Fに一
事ありとして別添9を提示してその趣旨を述べ
た。この米事F(米事F)は前日北米局長よりバン
クーバー二次補に手交せる14-Aと~~同~~同一であり、若干
討議の後、総理はこれを採用すること(つたか)
に決定された。なお別添10米事F付添別添9
よりも調子を強くしたものであるとの説あり。あつたか、
factors と言う字は必ずしも必要とせず、会議の序
上事務当局限りで採らざることにした。
- 9. 15日午後の総理~~大~~大統領~~會~~が2回会議において
同日午前総理ラッパに合意されたとあり、共同声
明は確言された。

SECRET

Accordingly, the President and the Prime Minister agreed that the two governments should keep under joint review the status of the Ryukyu Islands,

U.S. Version

in the light of the desire of the Japanese people for reversion and of the mutual interest of both countries in maintaining and strengthening the security of the East Asian region.

Japanese Version

guided by the aim of returning the administrative rights over the Ryukyu Islands to Japan at the earliest possible date.

別添
1.

二二二
その結果、スミカ、日本、合衆、同、政府、由、この、個、別、に、この、
双方の立場を損ねるもの、(これを以て、総じて、今後、合衆に、戻す、地、を、
この、先、方、に、解、する、)

SECRET

As a result of their discussion, the President and the Prime Minister agreed that the two Governments, guided by the aim of returning the administrative rights over the Ryukyu Islands to Japan as soon as the mutual interests of both countries permit, should undertake jointly through diplomatic channels to keep the status of these islands under continuous review.

別添
2.

二二二
その結果、スミカ、日本、合衆、同、政府、由、この、個、別、に、この、
双方の立場を損ねるもの、(これを以て、総じて、今後、合衆に、戻す、地、を、
この、先、方、に、解、する、)

第 3 卷

二二二 (午後) 托事局長 須之部へ復 打合の結果、シタル主張の下の二條 記述被り等

二二二
（抄）
長 領之部を以て、
打合の如く、
シアルに生張りの下にて、
水を被り、
（抄）

別添 4

二二三
シアトルにある大屋、大坂、半三郎、梅次、小半、
作次、セリ、

二・四午方、時、總理大體
 合議、為、議會土家、前、打合、に、
 乙、議、理、の、示、され、に、る、事、
 並、四、合、強、に、あ、り、非、
 ず、大、院、に、手、
 ず、大、院、に、手、

別
添
5

"... with a view to reaching agreement,
within a few years, on a timing
satisfactory to the two Governments for
the reversion of these Islands"

二二四五年の時 総理大臣は閣内閣の
多数の賛成を得て、東京において、
より早く、大蔵省に
おいて、閣内閣に
より早く、大蔵省に

Proposals Under Consideration

A.

Accordingly, the President and the Prime Minister
agreed that the two governments should keep under joint
review the status of the Ryukyu Islands, in the light
of the desire of the Japanese people for reversion and of
the mutual interests of both countries in maintaining and
strengthening the security of the Far East region.

B.

Accordingly, the President and the Prime Minister agreed
that the two governments should keep under joint review the
status of the Ryukyu Islands, guided by the aim of returning
the administrative rights over the Ryukyu Islands to Japan,
as soon as ~~consistent~~ consistent with the national interests
of both countries.

C.

As a result of their discussion, the President and
the Prime Minister agreed that the two governments, guided
by the aim of returning the administrative rights over the
Ryukyu Islands to Japan, should hold consultations through
diplomatic channels to examine matters pertaining to the

別
添
6

二二四五年の時

総理大臣は閣内閣の

多数の賛成を得て、東京において、

より早く、大蔵省に
おいて、閣内閣に
より早く、大蔵省に

reversion with a view to reaching, within a few years,
an agreement on a date satisfactory to the two governments
for the reversion of these Islands consistent with the national
interests of both countries.

D.

Accordingly, the President and the Prime Minister
agreed that the two governments should keep under joint review
the status of the Ryukyu Islands, guided by the aim of
returning the administrative rights over the Ryukyu Islands
to Japan at the earliest possible date.

別添
7

二、二回 午後四時半 作成 七時 土原の涼風を得た上
午後九時 大庭の體を陳杞東の長よりハシ、次は補、手二又

二、二回 午後四時半 作成 七時 土原の涼氣を得た上
午後九時 大谷の體を陳杞東の長よりハシ、次ハ補、手ニ又

别号 8

楚辭

二、十四 午後九時 土俵預降 降 八分、立神より 托事會長に手交

F.
VII

The President and the Prime Minister frankly discussed the Ryukyu and the Bonin Islands. The Prime Minister emphasized to the President the strong desire of the Government and people of Japan for the return of administrative rights over ~~reversion of~~ the Ryukyu Islands to Japan and expressed his belief that an adequate solution should promptly be sought on the basis of mutual understanding and trust between the Governments and people of the two countries. He further emphasized that an agreement should be reached between the two Governments within a few years on a date satisfactory to them for the reversion of these Islands. The President stated that he fully understands the desire of the Japanese people for the reversion of these islands. At the same time, the President and the Prime Minister recognized that the United States military bases on these islands continue to play a vital role in assuring the security of Japan and other free nations in the Far East.

As a result of their discussion, the President and the Prime Minister agreed that the two Governments should keep under joint and continuous review the status of the Ryukyu Islands, guided by the aim of returning administrative rights

別添
9

二二五
年九月
三十一日
持参

-2-

over these Islands to Japan and in the light of these discussions.

The President and the Prime Minister further agreed that, with a view toward minimizing the stresses which will arise at such time as administrative rights are restored to Japan, ~~Measures~~ should be taken to identify further the Ryukyuan people and their institutions with Japan proper and to promote the economic and social welfare of the Ryukyuan residents. To this end, they agreed to establish in Naha an Advisory Committee to the High Commissioner of the Ryukyu Islands. The Governments of Japan and the United States of America and the Government of the Ryukyu Islands will each provide a representative and appropriate staff to the Committee. The Committee will be expected to develop recommendations which should lead to substantial movement toward removing the remaining economic and social barriers between the Ryukyu Islands and Japan proper. The existing United States-Japan Consultative Committee in Tokyo will be kept informed by the High Commissioner of the progress of the work of the Advisory Committee. It was also agreed that the functions of the Japanese Government Liaison Office would be expanded as necessary to permit consultations with the High Commissioner and

the United States Civil Administration on matters of mutual interest.

The President and the Prime Minister agreed that the mutual security interests of Japan and the United States could be accommodated within arrangements for the return of administration of the Bonin Islands to Japan. They therefore agreed that the two Governments will enter immediately into consultations regarding the specific arrangements for accomplishing the early restoration of these islands to Japan without detriment to the security of the area. These consultations will take into account the intention of the Japanese Government, expressed by the Prime Minister, gradually to assume much of the responsibility for defense of the area. The President and the Prime Minister agreed that the United States would retain under the terms of the Treaty of Mutual Cooperation and Security between the United States and Japan such military facilities and areas in the Bonin Islands as required in the mutual security of both countries.

The Prime Minister stated that the return of the administrative rights over the Bonin Islands would not only contribute to solidifying the ties of friendship between the two countries but would also help to reinforce the con-

viction of the Japanese people that the return of the administrative rights over the Ryukyu Islands will also be solved within the framework of mutual trust between the two countries.

Alternate Second Paragraph

Guided by the aim of returning administrative rights over these Islands to Japan, and in the light of the factors discussed, the President and the Prime Minister agreed that the two Governments should keep under joint and continuous review the status of the Ryukyu Islands.

第10條

二二五 与ふ九侍事 三三三 長友指参
(F 平素に復すに付 汝)

SATO/JOHNSON COMMUNIQUE

11 54 11

•

President Johnson and Prime Minister Sato met in Washington on November 14 and 15, 1967, to exchange views on the present international situation and on other matters of mutual interest to the United States and Japan.

II

The President and the Prime Minister declared that the United States and Japan, guided by common democratic principles of individual dignity and personal freedom, will continue to cooperate closely with each other in efforts to bring about world peace and prosperity. They took note of the importance of reinforcing the authority and role of the United Nations as a peace-keeping organization, of promoting arms control and a reduction of the arms race, including the early conclusion of a Non-Proliferation Treaty, as well as of rendering effective assistance to the developing countries, particularly those in Southeast Asia.

二、二 系 長 務 省 日 本 訂 長 承 命 打 金 資 料

III

The President and the Prime Minister exchanged frank views on the recent international situation, with particular

SECRET

SECRET

- 2 -

emphasis on developments in the Far East. They noted the fact that Communist China is developing its nuclear arsenal and agreed on the importance of creating conditions wherein Asian nations would not be susceptible to threats from Communist China. The Prime Minister and the President also agreed that, while it is difficult to predict at present what external posture Communist China may eventually assume, it is essential for the free world countries to continue to cooperate among themselves to promote political stability and economic prosperity in the area. Looking toward an enduring peace in Asia, they further expressed the hope that Communist China would ultimately cast aside its present intransigent attitude and seek to live in peace and prosper alongside other nations in the international community.

IV

The President reaffirmed the continuing United States determination to assist the South Vietnamese people in the defense of their freedom and independence. At the same time, he made it clear that he was prepared to enter into negotiations at any time to find a just and lasting

SECRET

SECRET

- 3 -

solution to the conflict. The Prime Minister expressed support for the United States position of seeking a just and equitable settlement and reaffirmed Japan's determination to do all it can in the search for peace. The Prime Minister noted he had found widespread support during his Southeast Asian trips for free world efforts to cope with Communist ^{intervention and} infiltration. ^{He also} The Prime Minister expressed the view that reciprocal action should be expected of Hanoi for a cessation of the bombing. The President and the Prime Minister agreed that it is important that the new Government in South Vietnam continue its progress toward stable democratic institutions and the social and economic betterment of its people.

V

The President and the Prime Minister exchanged views frankly on the matter of security in the Far East including Japan. They declared it to be the fundamental policy of both countries to maintain firmly the Treaty of Mutual Cooperation and Security between the United States and Japan in order to ensure the security of Japan and the peace and security of the Far East. The President and the Prime

SECRET

SECRET

- 4 -

Minister recognized that maintenance of peace and security rests not only upon military factors, but also upon political stability and economic development. The Prime Minister stated that Japan is prepared to make a positive contribution to the peace and stability of Asia in accordance with its capabilities. The President stated that such efforts on the part of Japan would be a highly valued contribution to peace and stability in Asia.

VI

Referring to his recent visits to the Southeast Asian countries, the Prime Minister explained the efforts these nations are making in a spirit of self-help toward achievement of greater welfare and prosperity for their peoples, but noted their continued need for assistance in their efforts. The Prime Minister stated that it is the intention of the ~~Japanese~~ Government of Japan, in meeting this need, to provide more effective bilateral and multilateral assistance to the Southeast Asian region particularly in the fields of agriculture, fisheries, transportation and communication, by increasing the amount of assistance and liberalizing its conditions. The Prime Minister described the encouraging

SECRET

SECRET

- 5 -

trends which he had observed particularly in Southeast Asia toward greater regional cooperation and he cited the promising prospects for the Asian Development Bank and its Special Funds. He further stated that it is the intention of the Japanese Government to make greater use of these institutions by assisting in further expanding their operations. Recognizing the need to strengthen economic assistance to the developing areas, particularly to the Southeast Asian countries, the President and the Prime Minister agreed to maintain close consultation with each other in this field.

VII

The President and the Prime Minister frankly discussed ~~the problem of~~ the Ryukyu and the Bonin Islands. The Prime Minister emphasized to the President the strong desire of the Government and people of Japan for the reversion of these islands, and expressed his belief that an adequate solution ~~to this problem~~ should promptly be sought on the basis of mutual understanding and trust between the Governments and people of the two countries. The President stated that he fully understands the desire

SECRET

SECRET

- 6 -

of the Japanese people for the reversion of these islands. At the same time, the President and the Prime Minister recognized that the United States military bases on these islands continue to play a vital role in assuring the security of Japan and other free nations in the Far East.

As a result of their discussion, the President and the Prime Minister agreed that the two Governments, guided by the aim of returning the administrative rights over the Ryukyu Islands to Japan at the earliest possible date, should hold consultations through diplomatic channels to examine matters pertaining to the reversion.

The President and the Prime Minister further agreed that, ~~during the interim period leading to the time when~~ ^{with a view} ~~the administrative rights over these islands would thus be~~ ~~restored to Japan,~~ measures should be taken, ~~in preparation~~ ~~for the reversion,~~ to identify further the Ryukyuan people and their institutions with Japan proper and to promote the economic and social welfare of the Ryukyuan residents. To this end, they agreed to establish in Naha an Advisory Committee to the High Commissioner of the Ryukyu Islands. The Governments of Japan and the United States of America

SECRET

SECRET

- 7 -

and the Government of the Ryukyu Islands will each provide a representative and appropriate staff to the Committee.

The Committee will be expected to develop recommendations which should lead to substantial movement toward removing the remaining economic and social barriers between ^{the Ryukyu Islands} ~~Okinawa~~ and Japan, ~~and~~ toward minimizing the stresses which will

arise at such time as administrative rights are restored to Japan. It was ^{also} agreed that the functions of the Japanese Government Liaison Office would be expanded as necessary to permit consultations with the High Commissioner and the United States Civil Administration on matters of mutual interest.

The President and the Prime Minister also reviewed the status of the Bonin Islands and agreed that the mutual security interests of Japan and the United States could be accommodated within the arrangements for the return of administration of these islands to the ^{Government} ~~EOJ~~ ^{Japan}. They therefore agreed that the two Governments will enter immediately into consultations regarding the specific arrangements for accomplishing the early restoration of these islands to Japan without detriment to the security of the area. These consultations will take into account the intention of the

SECRET

* The United States Japan Consultative Committee in Tokyo informed of the progress of its work. ^{will be kept}

SECRET

- 8 -

Japanese Government, expressed by the Prime Minister, gradually to assume much of the responsibility for defense of the area. The President and the Prime Minister agreed that the United States would retain under the terms of the ~~Japan-United States Security Treaty~~ ^{full title} such military facilities and areas in the Bonin Islands as required in the mutual security of both countries.

The Prime Minister stated that the return of the administrative rights over the Bonin Islands would not only contribute to solidifying the ties of friendship between the two countries but would also help to reinforce the conviction of the Japanese people that the return of the administrative rights over the Ryukyu Islands will also be solved within the framework of mutual trust between the two countries.

VIII

The President and the Prime Minister exchanged views on trade and economic policies following the successful conclusion of the Kennedy Round negotiations. They considered that a continued expansion of world trade would be in the best interests of both countries and pledged continued close cooperation in pursuit of this objective.

SECRET

SECRET

- 9 -

They reaffirmed their support for policies which would lead to a freer flow of trade and further liberalization of other international transactions. They agreed that their two Governments should continue to consult closely regarding trade and economic problems between the two countries with a view to finding mutually satisfactory solutions. They noted that early restoration of balance in each of the two countries' worldwide international payments was of basic concern to both and agreed to assist each other toward this end. In this regard, and with a view to making possible the continuation and expansion of mutually beneficial trade and financial relationships between ~~the two~~ ^{the two} countries and promoting the development and stability of the Asia-Pacific area, they agreed to enhance the usefulness of the Joint United States-Japan Committee on Trade and Economic Affairs by establishing at an early date a subcommittee. This subcommittee ~~would~~ ^{will} be a forum for consultation on economic and financial matters of importance to both countries, including the short and longer-range balance of payments problems of the two countries.

SECRET

SECRET

- 10 -

IX

The President and the Prime Minister expressed their satisfaction with the active and expanding scientific cooperation between Japan and the United States. They especially recognized the contributions made by the United States-Japan Cooperative Medical Science Program which was established as a result of their last meeting in January 1965, and the continuing achievements of the United States-Japan Committee on Scientific Cooperation.

The President and the Prime Minister discussed the peaceful exploration and use of outer space, and noted with satisfaction the recent entry into force of the outer space treaty, a new milestone in mankind's progress towards peaceful uses of outer space. They reviewed United States-Japanese space cooperation to date, ^{between the United States and Japan} and surveyed possibilities for future cooperation. They agreed that the two Governments should look more closely into such possibilities, focusing on the development and launching of earth satellites for the scientific research and peaceful utilization of outer space.

The President and the Prime Minister, aware of the increasing importance of the oceans as a source of food for

SECRET

SECRET

- 11 -

the world's growing population and as a source of minerals, have agreed to seek ways of greatly expanding United States-Japan cooperation in research and in development of technology for the utilization of marine resources. ^{High the Blue Conf} For this purpose they have agreed that as part of the United States-Japan Natural Resources Program, there should be prepared a report and recommendations to the two Governments looking to cooperation between the two countries in ^{this field} ~~such areas as~~ agriculture, further development of man's viability under the sea, technology for control of oil pollution in the sea, and improved typhoon and Tsunami wave height research and prediction.

The President and the Prime Minister recognized that the promotion of peaceful uses of atomic energy has immense possibility of furthering the welfare of mankind and noted with satisfaction that there exists a close cooperative relationship between the two countries in this field. In this connection, the two leaders expressed satisfaction with the smooth progress of the current negotiations to conclude a new agreement for cooperation in this field. (The Prime Minister welcomed in particular the intention of the United States Government to increase the supply of such nuclear fuel as plutonium ^{and} U235 to Japan.)